

2019年1月24日(木) 27日(日) 全4日間

会場—J:COM ホルトホール大分 大分県大分市金池南1-5-1 JR大分駅 徒歩2分
コンパルホール 平和市民公園能楽堂 など



日本劇作家大会

2019 大分大会



「よだきい」風土の大逆転!

大分には「よだきい」＝面倒臭い・だるいという意味の方言があります。ユーモアと皮肉に満ちた県民性を示す言葉です。でもそれは、本質を見極める機知と、心から面白いと思うものだけにこだわる貪欲さの裏返し。今大会では「よだきい」に隠された「劇のおおいた」の魅力を存分に探して、それを惜しむことなく発信します!

原点に還る

16世紀、キリスト教文化の中心地として栄え「西洋演劇発祥の地」の記念碑が建つ大分。古くから演劇を楽しむ土壌のあるこの地で演劇の魅力と大分の魅力に出会い直すエキサイティングな4日間。豊かな温泉を満喫し「うまいもん」に舌鼓を打ちながら演劇本来の楽しさと素晴らしさを思いっきり体感しよう!

参加者登録受付開始 2018年12月1日(土)
劇作家や演劇に携わる方のみならず、演劇や出演者に興味のある方、文化イベントがお好きな方などなたでもご参加いただけます。参加登録の方法は、追って特設Webサイトでご案内します。

他 総勢150名以上の劇作家、豪華ゲスト(俳優・演出家など)多数!

- 天野天街
- 箕田ヨシ
- 大林宣彦
- 川村毅
- 北村想
- 坂手洋二
- 篠原久美子
- 瀬戸山美咲
- 妹尾河童
- 田中真弓
- 佃典彦
- 土田英生
- 泊篤志
- ドリアン助川
- 永井愛
- 中津留章仁
- 西田シャトナー
- 平田オリザ
- ベンガル
- 蓬萊電太
- ポビー中西
- マキノノゾミ
- 松本修
- 丸尾聡
- 横内謙介
- ラサール石井
- わかざきあふ

出演予定者 (50音順)
最新情報は特設Webサイトで随時更新中!

プログラムの一例

(※変更の可能性ががあります)

- 大林宣彦と語る「映画と演劇」** 聞き手=平田オリザ
- 妹尾河童と語る「劇場空間の挑戦」** 聞き手=坂手洋二
- 上演とシンポジウム「古典と現代劇の差異」**
出演=茂山童司、茂山逸平 司会=土田英生
- 箕田ヨシ講演会**
- 第24回 劇作家協会新人戯曲賞 公開審査会**
審査員=川村毅、坂手洋二、佃典彦、土田英生、永井愛、平田オリザ、マキノノゾミ/司会=瀬戸山美咲
- 戯曲ワークショップ**
講師=岩松了、横内謙介、マキノノゾミ、他
- スペシャルリーディング「痕跡(あとあと)」** 作=桑原裕子
出演=田中真弓、ベンガル、ラサール石井 など豪華キャスト12名
- リーディングフェスタin大分**
(文化庁委託事業「平成30年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」)
- 常設展示:「朝倉摂の世界」** 他

- シンポジウム・トーク**
「井上ひさしさんの“思い残し切符”」
「地域に拠点をつくる意味」
「ミュージカルと劇場空間」
「震災と演劇を考える」
「高校演劇の世界」
「オペラと演劇」
「紛争地域と演劇」 など多数

- ワークショップ**
「舞台美術/舞台衣裳/舞台照明/舞台音響のワークショップ」
「ポビー中西による俳優ワークショップ」
「翻訳劇をどう演じるか」
「ノンバーバルコミュニケーション(非言語)演劇遊学のススメ」
「能舞台は現代劇のフォーマットになるか」
「子育て劇作家ルーム~子どもと劇作家の作品作り」
「ラジオドラマシナリオ講座」 など多数

詳細は順次発表!
詳細は特設Webサイトに



主催 日本劇作家大会 2019 大分大会実行委員会、一般社団法人日本劇作家協会
共催 J:COM ホルトホール大分、大分合同新聞社
助成 自治総合センター (地域の芸術環境づくり助成事業)
認定 公益社団法人 企業メセナ協議会

大会ロゴデザイン=麻生尚男(佐伯印刷) イラスト=チャンキー松本 宣伝デザイン=奥秋 圭

お問合せ

日本劇作家大会 2019 大分大会 実行委員会 (J:COM ホルトホール大分内)
〒870-0839 大分県大分市 金池南 1-5-1 TEL: 097-576-8877
日本劇作家協会
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 2-29-14-501
MAIL: office@jpac2019-oita.org TEL: 03-6383-0766 FAX: 03-5364-9205

